

分担研究報告書

被災地における心不全患者の在宅療法に関する研究

研究分担者 安田 聡 国立循環器病研究センター心臓血管内科 部門長
研究分担者 小川久雄 国立循環器病研究センター 副院長

研究要旨

2004年より日本循環器病学会が主導で行われている循環器疾患診療実態調査のデータセンターは2013年度より国立循環器病研究センターに移設された。本調査により、我国の循環器医療の必要性（需要）と供給の両面から疾病・診療実態を把握することが可能である。

A . 研究目的

循環器疾患診療実態調査(The Japanese Registry Of All cardiac and vascular Diseases; JROAD)を行い、循環器専門医が診断した急性心筋梗塞及び心不全患者の我が国の入院患者総数を把握すること。

B . 研究方法

循環器科心臓血管外科を標榜する2577施設を対象にWEBを用いて調査項目に回答。調査期間は2012年1月から12月の1年間とした。

(倫理面への配慮)

本研究は、疫学研究に関する倫理指針に従い、公開すべき事項を本センターホームページ、広報などを通して公開する。

C . 研究結果

循環器専門医研修施設・研修関連施設の登録率は100%(n=1298)を達成した。急性心筋梗塞入院患者総数は69,219名、心不全入院患者総数は212,739名であった。心筋梗塞患者入院死亡は5,564名、心不全患者の入院死亡は17,663名であった。心筋梗塞患入院患者数は2004年以降増加傾向にあった(2004年:48213例、2009年:63207例)。

D . 考察

心不全入院患者数は本年度から調査開始された。これまで全国レベルで診断基準に基づき患者数が示されたことはなく、我が国の実態が初めて明らかになった。今後医療の質の評価等、在宅医療に関連した基礎データを蓄積する必要がある。

E . 結論

発症予防・重症化予防(先制医療)のため、循環器疾患診療登録の整備が重要である。

F . 健康危険情報

なし

G . 研究発表

1. 調査発表

http://jroadinfo.ncvc.go.jp/report/report12_140122.pdf

2. 学会発表

The 78th Annual Scientific Meeting of the Japanese Circulation Society (2014, Tokyo, Japan)

H . 知的財産権の出願・登録状況

(予定を含む。)

1. 特許取得

なし

2. 実用新案登録

なし

3. その他

なし

